

(文部科学省)

事 項 名	20年度減量・効率化の取組内容
本省内部部局等におけるアウトソーシング等による効率化(☆)	文部科学省行政効率化推進計画に沿って、庁舎管理業務(警備、清掃)、受付・案内業務、ホームページの作成、情報システム(庁内LAN)管理業務、研修業務、統計調査業務、公用車関係業務(運転業務)、電話交換業務、大規模な会議の運営等について外部委託を図り、平成19年度においては定員を9人、平成20年度においても定員を10人合理化する。
公共事業関連業務の見直し(文教施設関連業務)(☆)	学校等の施設整備業務の実施体制の見直しによる事務等の簡素化・合理化を図り、平成20年度においては、大臣官房文教施設企画部の定員を2人合理化する。21年度においても引き続き、業務の状況を踏まえて更なる効率化を検討する。
国立大学法人関連業務(財務・会計、評価等)の効率化・合理化(☆)	平成16年4月の国立大学の法人化以降の国立大学法人関係の業務の増減の状況を踏まえ、必要な業務体制の在り方について検討し、平成20年度においては定員を2人合理化する。21年度においても引き続き、業務の状況を踏まえて更なる効率化を検討する。
【水戸原子力事務所】 水戸原子力事務所におけるアウトソーシングの推進等による効率化・合理化	水戸原子力事務所については、可能な範囲において、積極的に業務のアウトソーシングを進め、更なる効率化を図ることにより、平成22年度末までに定員を1人以上合理化する。
法令に基づくすべての行政手続の簡素化・合理化	これまでに申請・届出等手続の簡素化・合理化計画に基づいて添付書類の一部廃止、変更手続の簡素化等の措置を講じてきたほか、平成17年度末までに公益法人等改革に伴い文部科学省認定技能審査制度を廃止した。また、平成20年度において定員を1人合理化し、引き続き、政府全体の取組を踏まえながら更なる行政手続の簡素化・合理化についての検討を進める。
業務・システムの最適化に基づく業務の効率化・合理化	勤務時間管理や旅費、共済等の業務の一元化、人事異動関係業務の効率化等を実施することにより内部管理業務を見直す。 「文部科学省ネットワーク(共通システム)最適化計画」に基づき、平成20年1月の新庁舎移転に合わせて、インターネット接続回線の統合等ネットワーク構成の見直し、共通セグメントの整備、音声システムの最適化等を実施するとともに、そのシステム稼働状況について検証する。 「研究開発管理業務の業務・システム最適化計画」(文部科学省分)に基づき、平成20年1月より、電子受付窓口(フロントオフィス)機能を整備することによる研究開発管理に係る書類のオンライン電子化、研究者番号の管理による不合理な重複及び過度の集中の有無の確認、総合科学技術会議への情報提供業務の効率化等の研究開発管理システムを運

	<p>用することとしており、システムの着実な運用を図りつつ、その稼働状況について検証する。</p> <p>「本省情報基盤システムの業務・システム最適化計画」（「統計調査等業務」を含む。）に基づき開発される「本省情報基盤システム」及び「政府統計共同利用システム」の「オンライン調査システム」の利用等により、実査集計業務の効率化・合理化を図る。</p> <p>これらの取組により、平成18～19年度に28人、20年度に4人合理化することを含め、22年度末までに定員を32人合理化する見込みである。</p> <p>以上のほか、「予算・決算業務の業務・システム最適化計画」（平成18年3月31日各府省CIO連絡会議決定）に基づき、開発されるシステム及び同システムの運用方法を踏まえ、業務の効率化を図るなど、府省共通業務・システム及び一部関係府省業務・システムについては、各最適化計画の進捗状況を踏まえつつ、各計画の担当府省と調整を行い、府省共通業務・システムの導入による業務の効率化・合理化を実施する。</p>
<p>統計調査業務の民間開放の推進による効率化・合理化</p>	<p>統計調査業務については「統計調査の民間委託に係るガイドライン」（平成17年3月31日各府省統計主管課長等会議申合せ、平成19年5月30日改定）を踏まえ、引き続き民間委託を推進し、業務の効率化・合理化を図る。</p>
<p>国立教育政策研究所、科学技術政策研究所の組織・運営の効率化・合理化（☆）</p>	<p>国立教育政策研究所においては、公用車運転業務の外部委託等により研究所の運営の効率化を図ること、また他の役職・係への業務の移転により一元的に業務を行うことで組織運営の業務の効率化を図り、平成20年度においては定員を3人合理化する。</p> <p>科学技術政策研究所においては、他の役職・係への業務の移転により一元的に業務を行うことで組織運営業務の効率化を図り、平成20年度においては定員を1人合理化する。</p>

（注）事項名に（☆）がある事項における平成20年度の合理化数は他の事項との重複がある。